

少しでも早く

安心な南中野地域を

木造住宅が密集する南中野地域は、中央防災会議が発表した直下型地震による被害想定で、もつとも被害の大きい地域の一つです。住民の不安に応える手厚い防災対策が必要です。

防災計画から削除された

「東大付属中等教育学校一帯の広域避難所」としての位置づけを復活・・・3月議会の昆質問

ところが平成16年度

の区防災計画修正案では、警大跡地とともに東大付属跡地の防災公園計画の明記が削除されてしまいました。この問題を、日本共産党の昆まさ子区議が取り上げて、明記を復活させました。

従来の中野区地域防災計画

・・・東京大学附属中等教育学校一帯の広域避難場所に、中核となる防災公園の整備について積極的に取り組んでいく。



H16年度修正原案

他の広域避難場所についても、防災公園の整備に取り組んでいく。



昆質問(H17年3月)で再修正

・・・東京大学附属中等教育学校一帯の広域避難場所に防災公園を整備するほか、他の広域避難場所についても・・・。

住民のくらしと安全優先の都政へ転換し

防災まちづくり助成の継続を

震災に強いまちづくりには住宅の不燃化対策が重要です。区は南台・弥生町地区で「防災生活圏促進事業」を1995年からスタート。不燃化建替え助成や道路拡幅整備をすすめて、住宅の不燃化率も37%から41%に改善されるなど、成果も出てきましたが、事業の期限が18年度・19年度と迫っています。日本共産党は、国と都の助成の継続を強く求めています。

「警大跡地に4割以上、10万人が避難できる緑の防災公園を」とハッキリ主張しているのも日本共産党だけです。日本共産党の躍進で、防災まちづくり助成制度を、ぜひ継続させましょう。



安全なまちづくりのために、都議会で働かせてください。
日本共産党前都議
うえき 植木 けんじ



区議会議員
昆まさ子

中野の広場

2005年6月号外
発行/中野の広場社(中野区野方1-17-4)